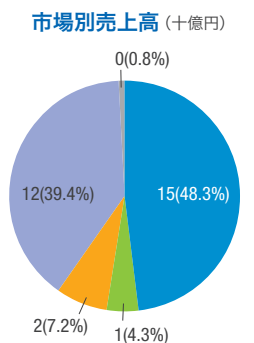
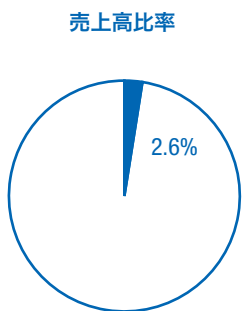
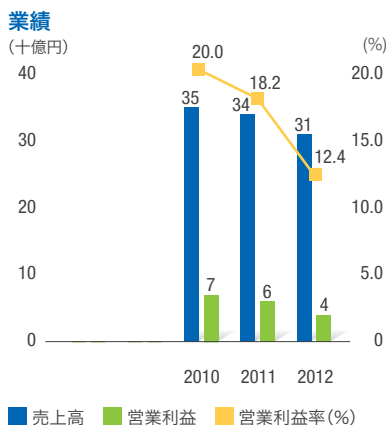


産業用機械・ロボット事業

2012年の産業用機械・ロボット事業の売上高は、前年比35億円(10.2%)減の308億円となり、売上高全体の2.6%を占めました。また、営業利益は同24億円(38.9%)減の38億円となりました。



■ 日本 ■ 北米 ■ 欧州 ■ アジア(日本を除く) ■ その他



2011年より、従来その他に含まれていたサーフェスマウンター・産業用ロボット・車椅子を産業用機械・ロボット事業へ区分変更し、2010年実績より反映しています。

IM事業

高速表面実装機『Z:TA』を市場投入

IM(インテリジェント・マシナリー)事業は、サーフェスマウンター(表面実装機)を中心に、各種産業用ロボットを製造販売する事業です。

2012年のサーフェスマウンター市場は、円高と景気低迷による国内での需要減少に加えて、欧州経済危機の余波から世界的に設備投資が抑制傾向にあり、総需要は前年比15.0%減の1.5万台に縮小しました。

当社では、2012年に業界最高水準の部品搭載速度を誇る表面実装機『Z:TA(ジータ)』を市場投入して新規顧客開拓に努めましたが、スマートフォン・タブレット端末関連への販売は好調に推移したものの、年後半から海外市場での販売が減速し、2012年の販売台数は前年比6.4%減の1,900台に、IM事業全体の売上高は同10.2%減の308億円にとどまりました。

2013年は中国および東南アジアでの投資回復も見込まれることから、サーフェスマウンター総需要は前年比11.8%増の1.7万台になるものと想定しています。

当社では、海外の量産ユーザーからの引き合いが高い『Z:TA』の本格的な市場攻略を展開することで、2013年の販売台数は前年比36.8%増の2,600台を計画しています。



Z:TA(ジータ)